フォトピックス

▲県大会で好成績

市内の小学生サッカーチーム「ジュニアイレブンサッカークラブ」が第24回全日本少年サッカー大会・神奈川県大会に出場し、参加した361チーム中第4位の成績をおさめました。

▲運動会で交流深める

6月11日、座間・海老名二市合同身体障害者運動会が行われ、競技に汗を流しながらお互いの交流を深めました。

▶環境への関心高まる

世界環境デーの6月5日から市役所で「えびな環境展」が行われ、風力発電施設(写真)をはじめ数々の環境保全対策施設などが展示され、多くの来庁者が足を止めていました。

▶鎌倉の歴史と自然にふれて

生涯学習講座「もっと身近に…鎌倉」が行われ、38人の参加者が鎌倉の自然の中で歴史を学びました。

まんまるあちゃん

齋藤佑衣ちゃん

社家、齋藤康一・美紀子さんの長女＝1歳1カ月

洲鎌まり子ちゃん

大谷、洲鎌洋之・和恵さんの2女＝1歳

篠原七彩ちゃん

河原口、篠原孝慎・智子さんの長女＝1歳

橋口真之輔ちゃん

門沢橋、橋口和雄・陽子さんの長男＝1歳

今井健吾ちゃん

勝瀬、今井貴秋・恵美さんの長男＝1歳

佐藤愛香ちゃん

国分北、佐藤尚・美由紀さんの長女＝1歳

江下太星ちゃん

国分南、江下裕隆・直美さんの長男＝1歳

飛渡竜太ちゃん

東柏ケ谷、飛渡悦郎・祐子さんの長男＝1歳

このコーナーに掲載を希望する方は…
電話で広報広聴課（内271）へ。ただし、申し込み時点で１歳未満の赤ちゃんに限りますので、お早めにどうぞ。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。

みなさんからの作品　海老名の風景⑤

▷場所　相鉄線かしわ台駅　▷撮影日　6月11日
柏ケ谷在住・小野田留蔵さん撮影

数字で見る海老名⑭

117,694

30年で3倍の人口

今から13年前の１９８７年（昭和62年）７月11日は、地球上の総人口が50億人を超えた日とされています。これを記念して、国連が提唱し、１９９０年（平成２年）７月11日を「世界人口デー」と定めました。

今回の数字は海老名市の人口(平成12年7月1日現在)です。「世界人口デー」にちなみ、海老名市の人口の移り変わりを紹介します。

本市は昭和46年11月1日、海老名町から市制特例法の適用を受けて海老名市となりました。このときの人口は４万８５５５人でした。その後、宅地造成や大規模マンションの建設、交通事情の利便化により、本市は大都市に勤める人のベッドタウンとして人口は増え続けていき、その数はこの29年間で約３倍に増加しています。

人口の動きは、全体で見るともちろん増加し続けていますが、転入・転出の多い月、例えば今年の４月の場合では３月に比べ195人減少しています。しかし、翌５月には187人、６月には237人それぞれ増加しています。

この４月ころの人口の一時的な減少は、ベッドタウンとして発展してきたため、市民のみなさんの転勤などの事情が関係していると考えられます。

８割以上が定住を希望

市制施行当時の海老名駅周辺

市民意識調査の結果によれば、約85％の方が、「これからも海老名に住み続けたい」という回答をしています。また、海老名の魅力を、「通勤・通学の利便性」だけでなく、「豊かな緑などの自然環境に囲まれたまち」とする多くの回答が寄せられています。今後も本市の人口は増えていく傾向にあると予想されていますが、利便性と豊かな自然が共存するまちとして発展していきたいと思います。

編集後記

25回目を迎えるふるさとまつり。夏の大イベントとして市民のみなさんに定着しつつありますが、今年から青年の祭典が同日開催され、催し物も増えて楽しさも倍増。広報担当もカメラ片手に会場を走り回ります。熱さでバテないように気をつけなければ…。（裕）